

昭和十七年九月二十日

一日一錢獻金運動經過並 陸軍機命名次第報告書

名古屋支部
大政翼贊會名古屋支部

一日一錢獻金各聯區明細書

聯區名	一月	二月	三月	四月	五月	計
今池	四七四・九五	四三六・五六	四七〇・四一	四七〇・八七	四八三・七三	二,三三〇・五一
池内	五九七・二九	五五五・一一	六〇一・四四	五八三・二〇	六〇〇・三三	二,九三七・二六
千種	一,〇三三・四〇	九四三・四一	一,〇三三・三〇	九九六・九二	一,〇三三・九一	五,〇〇九・八四
田代	一,一八二・八八	一,〇九四・八六	一,一〇三・八三	一,一七八・九三	一,一三六・八五	五,八八六・八一
高見	一,〇〇四・九八	九三三・二五	一,〇一四・一八	九九五・三三	一,〇二二・九四	四,九六九・五一
高松	七〇八・四四	六五六・四〇	七二五・三三	六九〇・五三	七〇〇・三四	三,四七九・五三
上野	七五七・四八	七五三・三七	七六七・七〇	八二六・九五	七九五・〇三	三,九二〇・五三
丸田	七六六・七七	七〇四・三三	七六七・七五	七四九・一八	七五七・六〇	三,七六一・六三
松軒	二九五・五七	二六九・七一	二九七・七六	二六六・六〇	二九五・八八	一,四四三・五三
合計	六,八一・七六	六,四八・九〇	六,八九・五九	六,七六・八〇	六,九三・五九	三三,七三九・四四
大東	四七九・五一	五九二・〇八	四三三・八四	四一四・五六	四九七・七三	二,二二九・七一
八重	二八二・二七	四五〇・二七	三七六・九八	三七二・八三	三八五・五四	一,八七七・〇〇
久屋	三四二・三四	三〇六・三三	三三八・五七	三二五・六五	三三〇・四九	一,六二三・六八
東新	二五六・八八	二三五・六六	二八〇・七七	二七九・四七	二八五・三四	一,三三八・三三
高岳	四九〇・〇九	四六三・七三	四八九・九六	四八四・四一	五〇〇・七七	二,四四三・四五
棟棠	四六九・二六	四二九・三三	四六五・五四	四五六・六五	五二二・四七	二,三三三・六六
白壁	三八二・八一	四〇一・七八	四〇六・一一	三九四・四六	三八二・五三	一,九四七・六八
東白壁	四六三・七三	四六六・〇三	四八四・〇四	四七一・六二	四八四・〇四	二,三六九・四七

1月3日
3月12日
3月12日
1月3日
3月19日

5月14日
1月3日
1月3日
5月14日
3月19日
3月19日
5月14日

米野	愛知	露橋	廣見	六反	牧野	龜島	則武	中日	合計	菅原	枇島	廣井	庄内	城北	新道	南切	明倫	金城	共立	榮生	榎生
九三三・六	五四六・六	六二八・八	三二八・七	五三三・七	一、〇八四・三	六〇九・三	一、三三六・三	一、七九二・四	二、一五三・五	一、五三三・六	四三三・七	四七五・九	一、二二七・四	六九九・七	五三〇・五	三〇一・四	三三〇・七	七〇〇・六	二四四・九	六〇六・三	五〇九・四
八六八・八	五四九・三	五八八・六	五四七・九	四八四・四	一、〇一四・七	五〇〇・六	一、四四八・四	一、六四四・三	一〇、八三三・二	一、七三三・三	三二二・七	四五一・六	一、〇四〇・〇	六一九・六	四六四・一	三三三・三	三三三・三	六四四・八	二二七・七	五五一・七	七六一・五
九四三・三	五五五・七	六二二・三	五四七・〇	五四九・九	一、〇九三・四	六三三・六	一、三三八・三	一、七〇一・六	二、一四三・三	一、八九二・七	四〇〇・四	四七五・五	一、一〇三・五	六七五・二	五五一・七	三三九・九	三三三・五	七三三・八	二五五・四	七〇〇・九	六四四・〇
九三三・七	五四二・六	六二四・〇	五四九・三	五四二・三	一、〇五二・二	五九三・二	一、三三〇・九	一、六七二・二	二、二四二・八	一、八四二・六	四〇六・六	四六四・六	一、一〇七・〇	六五八・五	五二七・三	四〇九・〇	三三三・九	七〇五・四	二四九・四	七〇九・九	六四八・九
九四〇・六	五四三・三	六二八・三	五四八・三	五四〇・六	一、〇〇六・三	六〇九・六	一、三四七・七	一、七二七・七	二、二四七・三	一、八七二・七	四〇七・七	四七〇・六	一、一八二・一	六八八・五	五二七・八	三六九・九	三三三・九	七一九・九	二二五・六	七一九・九	六八八・〇
四、六七・四	二、七〇・八	三、〇八・一〇	二、七〇・二	二、五二・二	五、三三・二	二、九九・〇	六、〇四・六	八、五〇・二	五〇、三七・九	九、三三・四	二、〇四・四	二、三三・九	五、五四・三	三、三三・三	二、三三・七	一、九三・二	三、五五・六	三、五五・六	一、二五・四	二、九四・九	三、二五・八

1月9日
3月12日
5月14日
5月14日
5月14日
5月14日
大曾根5月14日
5月14日
4月7日
3月25日
3月25日
4月7日
5月14日
3月19日

江兒	那古	七野	園町	俵町	上宿	上名	輻下	花ノ	合計	飯田	黒川	清水	大杉	杉村	下飯	六郷	矢田	山新	古新	筒井	葵井
六〇〇・三	四〇〇・三	七五二・九	二四九・二	三三三・四	五九三・四	三三三・二	七〇四・〇	四八三・〇	二、三三三・三	七〇〇・〇	九八二・六	一、〇四二・〇	六九五・二	八一九・三	四六六・〇	八三三・一	八八八・九	九一四・七	五七九・〇	一、〇三〇・六	九三三・〇
五六九・五	三九四・〇	六四二・五	三〇九・九	三三九・〇	五七五・四	四六六・五	六七二・九	四〇〇・六	二、八三三・五	六四九・七	八七四・一	九七二・九	六四三・四	七六六・九	四七四・二	七五六・二	八二八・六	八三三・三	九一四・七	九七〇・六	九一八・八
六二八・六	四三三・八	七三三・二	三三三・〇	三三三・〇	七三三・二	四七二・四	七二二・四	四〇八・九	三、〇五四・九	七七七・七	九七三・五	一、〇四五・九	六九〇・七	八三六・七	五〇〇・六	八二四・〇	九〇一・九	八七二・二	七〇〇・五	一、〇三〇・〇	九六六・二
六二〇・〇	四三三・六	六八二・九	三三三・〇	三三三・〇	六八二・九	四七三・九	七〇九・六	四七四・〇	三、二六六・九	六八八・七	九七〇・四	一、〇三〇・七	六七四・八	八三六・五	四八四・四	七九四・〇	九〇七・四	八三二・一	六九三・五	一、〇二七・三	九五二・九
六九二・三	四三三・四	七三三・一	三三三・〇	三三三・〇	六八二・九	四七三・九	七〇九・六	四七四・〇	三、二六六・九	六八八・七	九七〇・四	一、〇三〇・七	六七四・八	八三六・五	四八四・四	七九四・〇	九〇七・四	八三二・一	六九三・五	一、〇二七・三	九五二・九
三、六六・二	二、二八・九	三、四三・七	一、一四・二	一、一四・二	三、四三・七	二、二八・九	三、五七・九	二、三〇・七	六二、〇八・五	七九・五	九九・三	五、一〇・七	三、三九・七	四、〇九・八	二、四三・〇	三、九八・四	四、三七・三	四、三〇・九	三、四三・五	五、一〇・〇	四、七五・三

5月17日
3月12日
5月17日

3月12日(中区)

5月17日

昭和 5月17日

3月19日
5月17日

3月12日
5月17日
5月17日
3月12日
3月12日
5月17日
3月19日

1月3日
5月17日

3月19日
3月19日

傳馬	神戶	白鳥	森後	旗屋	高藏	波寄	草薙	合計	沙路	彌富	瑞穂	堀田	高田	高畑	叢雲	小針	吹上	御所	松榮	廣路
五七四・八	六三三・三四	二八六・五四	四三三・二五	六九三・八一	九三八・五二	六九三・八一	二九一・八五	一一七〇・八五	七九四・五七	一九一・九三	七七一・四一	一、五〇三・〇五	七〇・九〇	一、〇四九・〇九	八八二・二三	八六五・七三	九四二・〇九	八四一・一一	六五五・五九	一、〇三三・四七
五五五・〇〇	六四四・九七	四〇〇・二三	四〇〇・七	六三三・三三	八七〇・四	二五三・六二	二五三・五一	一〇、一五〇・〇七	七三三・〇六	一八八・九二	七〇九・八〇	一、四三六・六〇	八五五・五〇	九八二・一九	四五四・八〇	八二一・八〇	八六四・八五	七五七・五五	五八六・二四	九五四・八八
五九九・八一	六四二・五三	四〇四・六	四〇四・三	六七二・九三	九五一・五五	二九・五七	二八・〇〇	一一、二四五・〇七	七九八・五八	一七三・五二	七六七・八一	一、五四三・〇三	八六六・三三	一、〇六八・一六	七五七・七五	八七四・八三	九三七・九〇	八三六・六一	六四六・六七	一、〇六八・三九
五五五・四四	六二七・五一	四〇〇・三	四〇〇・三	六八八・〇	九四三・三	二八・一〇	二七・六	一一、一四一・七	八〇二・七	二〇〇・七七	七六四・九七	一、四九八・七〇	八三七・五四	九〇二・五五	八五八・四八	八五二・五八	九二五・五八	八二〇・七三	六三〇・三三	一、〇七三・三四
六〇一・九	四〇八・三	四〇〇・三	四〇九・九	六七九・五五	九四七・五	二〇・四八	二四・九七	一〇、九四〇・二	七九七・八五	二〇〇・三三	七六六・九三	一、五四四・八四	七九二・二三	一、〇六九・九八	八〇八・六三	八六三・〇五	九五二・九九	八〇八・六三	六五三・四七	一一〇四・四七
二、九〇六・四三	一、八二〇・五〇	四、六三三・二七	三、四四七・四〇	三、三三三・三三	三、九五四・四八	一、八九七・七三	三、八九七・七三	五、四、六四七・九四	三、八九七・七三	九六〇・〇五	三、八〇五・九三	七、五三三・三三	三、九五四・四八	五、一〇三・九六	三、九五四・四八	四、二七三・八八	四、六〇六・六〇	三、七九九・八五	三、〇八五・〇三	五、一九三・七三

3月19日(昭和区)

3月19日
5月17日
3月12日
3月12日
3月12日
5月17日
3月12日
3月12日
3月12日

3月19日
3月19日
3月19日

3月19日

合計	小針	笹島	中町	白川	門前	古渡	正木	日日	波新	大寄	橋井	前津	松元	小川	東新	南屋	下久	東田	千早	松枝	合計
一一、九九七・七三	二八二・八七	四四七・三	九四六・七	六八五・一七	五八七・七五	四四七・四一	七五七・〇七	五五七・四六	四九一・七一	五三三・六九	六七八・九八	五四八・四七	五三三・七〇	七三六・三三	六九七・〇七	一〇七・七三	八三〇・八三	一八七・五五	五九二・五〇	六四四・九四	八、一四九・五四
一一、一三四・六	二五八・八六	四四五・八四	八七四・八七	六二〇・〇	五九四・七七	四一、四〇〇	七三三・二	五二四・六四	四七四・三四	五二九・〇三	六八八・四三	五二〇・五六	五四六・六六	六三三・二五	六七七・九五	九七・九二	七四八・一一	一七一・九二	五〇〇・六四	六〇六・三四	八、〇四三・〇〇
一一、〇三三・七	二八〇・四三	四八八・八一	九四七・六八	六九七・〇七	六〇一・四四	四四六・一七	七七九・三三	五五五・七〇	四九一・六四	五六二・三九	六八二・二一	五五三・三〇	五四四・一六	七四〇・七八	六九二・一一	一〇七・九二	八四二・六八	一八七・二〇	五三四・四二	六六五・五四	八、四一七・三四
一一、二七六・五	二七二・二	四八八・四一	九二六・五二	六五四・九六	五八八・八四	四三三・五九	七七五・八三	五二四・二七	四八六・三〇	五四二・四九	六六〇・七九	五四八・二〇	五四九・二七	七二九・三六	六六七・九一	一〇四・七〇	八〇二・七五	一八三・四五	五三三・〇六	六四二・五一	八、三二一・四七
一一、九五五・二三	二七七・一九	四七四・四二	九四五・六二	六六九・〇七	五九七・三九	四四三・四八	七七五・三四	五五五・六三	四九三・九六	五四四・四七	六七四・八〇	五四九・四六	五四九・六七	七四二・一一	六八七・五二	一〇六・七四	八三三・七三	一八八・八六	五五五・元	六四二・七九	八、四七五・一四
五八、八七七・四	一、三三〇・三六	二、三三三・三六	四、六三〇・六六	三、三〇八・三七	二、九九一・八	二、一八五・〇五	三、八〇〇・五八	二、七五四・〇	二、四七二・八五	二、四七二・八五	三、二五五・二	二、七九九・九九	二、五二二・四六	三、六二五・三三	三、三三三・七六	四、〇五五・〇	九一八・九八	二、六二二・九一	九一八・九八	四、〇五五・〇	四一、四二六・四九



道路に居座り

無縁仏のお地蔵さん

自動車に回り道の屋台店

戦災復興都市計画がどんどん進んで、ちよつと見には名古屋は、道路ばかりの街とすらいわれそうに、広い道路が何本も開けたが、また道路のまん中に家が建ったり、電柱が並んだままの風景も珍しくない。これは街で拾った居座り二題——市で自慢の百歩道の真ん中に取壊されたお地蔵さんと、幅五十歩の一般国道を通せんぼして夜ごと風雨する屋台

の列である。

大曾根の屋台店

東区赤塚電停から東北へ、北区大曾根電停まで抜ける五十歩道路は国道十九号線の一部。この道が大曾根電停へ出るごとに、毎日夕かた七、八時の屋台が出て新道路は全く通せんぼとなる。新道を飛ばして来た自動車は電車通りを目の前にしながら、ズバリ並んだ屋台の裏でストップという始末。戦後この一角にマーケットが出来た。

- 「一」自動車を「通せんぼ」の屋台店大曾根電停付近で
- 「二」供花もたえぬ千早町のお地蔵さん

一

来て、国道工事が進んでも約四十戸のバラック建が道をふさいだ形だったが、市建設局で昨年八月やつと立退きを実現したが、新道の出口に市交通局の立番ボックスや市電線用の電柱があるため歩道を残したところ、歩道があるなら車も来まいと屋台が並び出したというわけで、ワンタン、とんやき、おでんなどのノレンが新道から来る車も文字通りシリ目という次第。

千早町の地蔵さん

中区千早町三、工事の進められていた百歩道の中央にボソソと石地蔵さんかとり残されている。終戦直前の二十年十一月十四日と三月二十四日の二回の爆撃で、この辺りで何百人という死傷者が出た。その痛ましい犠牲者のうち氏名の分つたのは千早町千種本町三、若山きよ子さん一家四人をふくめわずか十名、あとはみな気の毒な無縁仏のままとなっていたのを、二十三年春のお彼岸に千早町の山田順三さん(ご)が町内の人たちと協力して供養に建てたもので、いまも供花は絶えず、二十五年でいから進められた市の道路計画で、昨年末にはこのお地蔵さんだけを残して、周囲はすっかり整地も完了されて、お地蔵さんの移転話も出ているため地元では居座りの陳情も出てくる。

建設局では「交通局にボックスや電柱を動かすよう頼んでいるが、早くやつてもらわないと立退いたマーケットの人たちにも申訳ない。特にこの赤塚—大曾根間の舗装のため国庫補助金が出る予定で、出来れば六月ごろ工事にかかりたいと思っているのだが……」とこい、交通局では「建設局から交通局へ移転補償費が支払われるはずで、また移転要求の文書も来

なればならぬはず。いつかでもこのままには着手できな」といっている。